

2020の夏は どうでしたか？



23日間の夏休みが終わりました。短いながらも充実した夏休みを過ごせたでしょうか。今年の夏は暑くなると言われていましたが、その予想をはるかに上回り、連日高温注意情報が発令される災害級の暑さが続く中、いよいよ学校の活動期間で一番長い84日間の2学期がスタートしました。コロナの第2波と思われる状況が起こりつつある今、それでも私たちは感染防止対策に引き続き取り組みながらも、「Withコロナ」の気持ちをもって学校の様々な活動を進めていく必要があります。

本来であれば、この2学期は、1学期に築いた学級の人間関係を土台にして、今度はそれをよりよい集団の力へと変換していく期間として、文化祭・体育祭・合唱コンクールなどの学校行事を軸に取組を進めてきました。今年度は、文化祭こそなくなりましたが、体育祭・合唱コンクールについては形は変わるもの現在実施の方向で進めています。そこで大切になってくるのが、生徒の皆さんには2学期始業式の全校放送でお話しした「成長型マインドセット」という考え方です。

もう一度説明しておくと、「マインドセット」とは心理学の分野の言葉で、簡単に言うとその人が持つ「無意識の考え方の癖」のようなものです。そして、そのマインドセットには、大きく分けて「固定型」「成長型」の2つがあり、多くの人はどちらも持っているのですが、その違いを今の状況で例えると、「固定型」は「今年はコロナで無理だからやめよう」という考え方、「成長型」は「コロナ対策をとてできる方法を探ろう」という考え方です。したがって、今年の体育祭・合唱コンクールの実施については、「成長型マインドセット」の考え方だと言えます。

この2学期もいろいろな不安の中でスタートします。すべて今まで通りとはいきませんし、充実させるのもそう簡単にはいきません。突然変更を余儀なくされることもあるでしょう。でも、みんなで一緒に考えてみませんか？それぞれの「成長型マインドセット」をオンにして、よりよい明日を描いていけばいいのかを。そして、自分たちの考え方や行動で生活が少しずつでも変わっていくことをぜひ実感してみてください。

注目のトピック！ 「コロナで地球が健康に」

夏のある新聞に「コロナで地球が健康に」という記事が載っていました。そこには、ロサンゼルスの高層ビル群の向こうに美しい雪山がくっきり見える写真や大気の比較データとともに、インド：ニューデリーやムンバイ、中国：武漢では「PM2.5などの有害物質の濃度が下がり青空が戻った！」、イタリア：ベネチアでは「運河の水の透明度が上がり魚群が見える！」など世界各地で環境改善が起こっているという内容が書かれていました。国際的にも空気が比較的きれいで今回の環境変化が実感しづらい日本でも、今年と昨年3月の空の写真約20万枚をAI（人工知能）で分析すると、空の色は昨年よりも青色が濃くなっているとのこと。コロナの大流行で、これまでに例を見ない世界規模での外出制限がとられた結果、交通量や工場の稼働率が激減し、それが環境改善につながったようです。経済と環境は一見対立軸にあるようですが、これを機会に必ずしもそうすることを「成長型マインドセット」で考えてみることが大切なかもしれません。

生徒会リーダー学習会 ~自覚と力量upを目指して~

8月3日（月）、生徒会リーダー学習会が行われました。これは生徒会本部役員と各学年評議員が参加して行う取組で、生徒会を担うリーダーとして自覚と力量を高めるために夏季休業中に毎年行っています。今年はコロナ禍のこともありましたが、多目的室に活動用の折たたみ式長机と椅子を整備したので、その意義を尊重し感染防止対策をとりながら実施することにしました。まず午前中は、各グループに与えられたミッションを協力してクリアしていきます。「2分以内にグループメン





ンバー全員を褒めて、みんなのやる気を引き出せ！」「自分の好きな歌の一番をメンバーに歌って聞かせてあげて！」など、ユニークなミッションに挑みながら、メンバー個々の良いところを発見し、人間関係を築いていきます。午後からは、午前のミッション達成で打ち解け合ったグループ毎に今年の課題『今だから考えよう、学校でこそ身につけられる力とは。』について話し合い、発表しました。「礼儀・作法」「失敗を糧にする力」「コミュニケーション力」「意見を発信する力」「人間性（他人を大切にする力）」等々、話し合いの結果を寸劇も織り交ぜて工夫して伝えてくれました。この一日、一生懸命取り組んでいる皆さんのが姿が素晴らしいです。この経験をぜひ2学期以降の取組につなげていってください。

生徒会スローガン 煌～磨きあげろ最高の岩石～

正門を入って校舎左上を眺めてください。生徒会が制作した大きなフラッグが掲げられています。今年のスローガンは“煌～磨きあげろ最高の岩石～”です。このスローガンに込められた思いを紹介します。

岩石というのが、今まで生きてきた人生の喜び、悲しみ、苦しみ、そして、幸せなどが蓄積された僕たちです。その岩石を西ノ京中学校で、色々な経験をしながら磨きあげ、磨きあげられた一人一人が集まり、新たな西ノ京中学校という岩石をつくりあげます。その岩石は、今まで見たことがないぐらい煌いていて、どんな困難があっても、立ち向かっていけそうなくらい、めっちゃすごいです！！そのすごさは、全校生徒の団結力、あいさつ力、集中力が最高に輝くときに、みんなの目にも見えると思います。そして、そのときには、自分自身も輝いていると思います。そういう一人一人、そして西ノ京中学校になれるように、という思いが込められています。僕たち全員、必ず輝くことができます。その輝きが、366人集まつたら、西ノ京中学校は世界一の学校になります。それを目指して、みんなでがんばっていきましょう。



こんな思いのこもったスローガンをこの一年間、事あるごとに見上げて大切にしてください。

教育実習生がやってきた！

8月24日（月）から9月4日（金）まで、本校で6人の大学生が教育実習を行っています。今年はコロナ禍の影響で期間が2週間に短縮されました。教育実習生たちは皆やる気満々で、その若いエネルギーのおかげで学校の雰囲気も普段よりさらに元気で華やかになっているように感じます。教育実習生たちは、この貴重な経験を生かして、ぜひ先生になる夢をかなえてほしいと願っています。また、生徒の皆さんの中にも「学校の先生になりたい」と思っている人もいるでしょう。早ければ7年後には大学生として教育実習を経験するかもしれません。6人の「先生の卵」の姿を通して、「自分の夢や将来」を考えるきっかけにしてください。

※【下のコメントは右の写真順です】



社会 友野 由香先生（2-3）

私は大学で心理学を学び、生徒の皆さんとが学校に気持ちよく通い、過ごすことができるよう取り組みについて考えています。中学では吹奏楽、高校ではオーケストラでフルートとピッコロを演奏していました。運動、絵を描くこと、料理も大好きです。皆さんとたくさんお話しがしたいと思っています。よろしくお願いします。

英語 芝岡 修一先生（3-2）

大学在学中に教師になりたいと思い、卒業後、再度通信制大学に入り直し、教職を目指す道を選びました。大学在学中はフォークダンス部で活動していました。中学生時代は美術部所属でしたが、そんなに絵は描いていませんでした(笑) 2週間という短い間ですが、皆さんと楽しめたらしいなと思います。よろしくお願いします。

英語 田中 香穂先生（3-3）

京都の龍谷大学から来ました。普段はいろいろな国の文化について勉強しています。映画と旅行と音楽がどれも同じくらい大好きで、今はアコースティックギターを練習中です。短い間ですが、時間の許す限りいっぱいお話しして皆さんと少しでも仲良くなりたいと思います。授業や普段の生活を通して、2週間よろしくお願いします。

英語 山本 捷馬先生（1-3）

佛教大学から参りました。平日は出版社に勤務して、本をつくり、売ったりしています。社会人になってから教師の仕事に関心を持ち、勉強しています。中学校の頃は、吹奏楽部でサックスを吹いていました。みなさんと交流できることを楽しみにしています。9/4までの10日間、短い間ですが、どうぞ宜しくお願いいたします。

社会 岩崎 和也先生（1-2）

京都先端科学大学から来ました。大学では地域の歴史などについて研究しています。中学校ではバスケットボール部、高校では剣道部、大学では学校祭実行委員会の委員長を務めました。趣味は漫画を読んだり、ゲームをしたりすることです。2週間という短い間ですが、生徒の皆さんにとって思い出に残るような良い実習にしていきたいと思います。宜しくお願いします。

保育 中村 奈央先生（1-4）

私は中学生の頃からソフトボールをしています。現在も大学の部活動でソフトボールを続けており、主将を務めています。ソフトボールだけでなく、スポーツが大好きです。2週間という短い期間ですが、みなさんとたくさんお話しして、交流を深められたらなと思います。よろしくお願いします。